

# 歴史・文化

詳細は右記  
二次元コードより  
アクセスして  
ください



## 平将門公紹介

歴史・文化

今から1100年前の東国は、坂東と呼ばれる未開拓の地でした。その荒地の開拓に農民たちと取り組んだのが平将門公であったと伝えられています。将門公は新しい時代を予期した馬牧の経営と製鉄による農具の開発などに取り組み、荒地の開拓を容易にしました。そうした進歩性が一族との争いを生み、その争いが国家権力との争いに発展し、豊かな郷土の実現を間近にして敗れてしまいました。

郷土の民を想い奔走した将門公。民衆と共に生き、闘った勇姿から、今も郷土の人々に慕われています。

### 終焉の地に静かに佇む古社

## 1 國王神社

MAP 1 図C-1

将門公を祭神とする神社で、公の三女如蔵尼が三十三回忌に父の姿を刻んだ木像がご神体になっています。拝殿・本殿・座像が県指定文化財です。茨城観光100選の一つ。

### 政治、経済、軍事の拠点

## 2 島広山・石井宮所跡

MAP 1 図D-1

承平5 (935) 年、将門公がここに石井の宮所を築き、軍事上の拠点としました。



## 国指定文化財

### 絹本著色聖徳太子絵伝

室町時代初期の作といわれ、聖徳太子の生涯を四幅に渡り描いた伝記絵です。各幅とも階段式の構図をとっていますが、事蹟の配列は厳密に年代順を追わず、ある程度自由な配置を取っています。(妙安寺蔵)



## 県指定文化財



### 金剛力士像

高さ1.5メートルの木像の阿(あ)金剛、吽(うん)金剛の2体。運慶の鎌倉時代中期の作と伝えられ、渾身の力がみなぎっている様は、鎌倉彫刻の特徴をよくあらわしています。(萬蔵院蔵)

## 護摩壇・礼盤・脇机

護摩壇一基、礼盤二基、脇机五基。護摩壇は、密教で護摩の修法を行うとき使用する道具のことです。寛永10 (1633) 年の銘文のある貴重な仏具です。(萬蔵院蔵)



## 阿弥陀寺御文

親鸞より8代目の蓮如上人が親鸞聖人の教えを護寺や門徒に広めるために、自分の考えを入れて書いたものを、実子の実如上人が書き写したものです。(阿弥陀寺蔵)



## 市指定建造物

### 八幡神社社殿

明治初期に造営された社殿で、建物の多くに彫刻がちりばめられているのが特徴です。向拝の龍、脇障子の孔雀、頭貫の唐獅子など、とても精巧で芸術性の高い作品です。彫刻はすべて地元出身の彫工である後藤縫殿之助が手掛けています。



## 猿島ばやし

生子にある八坂神社の祭礼に奉納するためのお囃子で、江戸初期から続くとされています。大太鼓・小太鼓・小鼓・笛などをを用い「しゃんざり」「からす」などの曲を演奏します。古城まつりや市内の祭礼において上演されています。



## 絹本曼荼羅

曼荼羅とは、密教における仏の二大世界のことで金剛界と胎蔵界からなり、この曼荼羅は金剛界を表現したものです。縦138.5センチ、横118センチ。鎌倉時代中期の作で、絹地に金泥で彩った豪華絢爛なものです。(萬蔵院蔵)



## 《坂東市の皆様の 安心で豊かな住生活を応援します!!》

飯村 佳功  
今井 真奈美  
小川 俊之  
倉持 功  
鈴木 一利  
滝本 稔  
中村 政人  
成島 稔  
古矢 伊佐夫  
森 均

石塚 政文  
入江 武  
金子 満  
小林 陽一  
鈴木 尚美  
武井 智広  
中山 裕之  
新谷 道子  
増田 和夫  
山崎 良教

石塚 敏恵  
海老原 宏實  
木村 紀仁  
篠塚 康延  
関 明  
田村 正己  
名越 傳  
野本 平晴  
間中 清美  
横島 傳

稲毛田 幸寿  
大久保 正男  
倉持 一二  
鈴木 光與志  
滝本 武  
富山 哲夫  
成島 金哉  
林 昇一  
宮部 誠

《掲載 50音順》

## 茨城県建築士会 坂東支部

(支部長) 森 均 (副支部長) 名越 傳・野本 平晴



将門公ののどを潤したと伝わる湧水

### 4 石井の井戸

MAP 1 図D-2

将門公が水に困っている時、老翁が水を出してくれたという伝説の井戸です。

1445年に相馬氏によって  
創建された山門

### 3 延命寺山門

MAP 1 図D-2

将門公の守り本尊である「薬師如来」を祀り、現在は山門だけが昔の面影を残します。茨城観光100選の一つ。



### 石井の井戸の老翁

### 5 一言神社

MAP 1 図C-2

将門公に井戸水を出してくれた老翁が祀られています。



京都御所から根分け  
したと伝わる桜

### 6 九重の桜

MAP 1 図D-3

将門公が紫宸殿前から分株したとも、また、郡司平守明が植えたとも伝えられています。



調練された軍馬の馬市

### 7 富士見の馬場

MAP 1 図B-3

将門公が馬の訓練をし、軍馬や伝馬の市を開いたといわれる所です。



### 延命院

MAP 6 図B-5

将門公の胴塚があり、将門山ともいわれています。市民の浄財による顕彰碑と東京大手町の首塚より送られた石塔婆が建てられています。



### 深井地蔵尊

MAP 3 図C-2

将門公の妻子が亡くなった場所で、その最期を哀れんだ土地の人々が妻子を祀るため創建したといわれています。

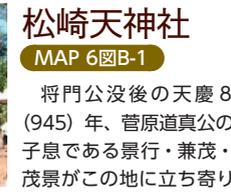


菅原景行が将門公の開拓思想を受け継いだ

### 松崎天神社

MAP 6 図B-1

将門公没後の天慶8(945)年、菅原道真公の子息である景行・兼茂・茂景がこの地に立ち寄り「天穂日命」と道真公を祀った神社。景行はここを腰掛け天神と称し、将門公らの開拓思想を受け継ぎ、飯沼の開発構想を練ったといわれています。



### 大日如来坐像

鎌倉時代の作といわれる大日如来像です。目には水晶が使用され、像は金箔で塗られています。地髪部と宝髻(ほうけい)を毛筋彫(けすじぼり)とし、穏やかな表情を見せています。

(延命寺蔵)



### 木造阿弥陀如来坐像

平安時代末期の作といわれる阿弥陀如来像で、小さくきちんと並んだ髪、おだやかな面相、伏し目がちの目などは定朝様の特色をとどめています。(西念寺蔵)



### 神田ばやし

口伝により伝えられた音符台本により合奏するお囃子で、あわせて神楽舞も行われます。おはやしは神楽舞の種目により異なりますが、おもなものは三番、獅子舞、降臨、岩戸神楽などがあります。使用する楽器は太太鼓、小太鼓、手すり鐘、笛で高い技法が必要とされます。

### 聖徳太子木像

太子が16歳の時に父・用明天皇の病気の快復を祈る姿をあらわしたもので、「孝養(きょうよう)の太子像」と呼ばれます。大きめの目をしており、頬にも張りがあり聡明な太子の相をよくあらわしています。(妙安寺蔵)



### 絹本著色来迎阿弥陀三尊像

阿弥陀如来と観音・勢至の二菩薩が出現する様子を描いた三尊来迎図と呼ばれる絵画です。細密な描法で描かれており、仏身には金彩(きんだみ)と載金(せりかね)が施されています。(延命寺蔵)



### 沓掛の大ケヤキ

神社の御神木であり、人々の信仰の対象として古くから敬われる大ケヤキです。樹まわり約8.5メートル、樹の高さは約30メートルにも及びます。(神明社)



### 香取神社本殿

嘉永5(1852)年、美しさを長く保存するために氏子の手で上屋が造られしっかりと保護されています。平成3・4年の修復作業により、鮮やかな色彩がよみがえりました。(沓掛香取神社)

### 福祉施設

エリアマップ5図 E-1

## 社会福祉法人 清風福祉会



利用者の皆様が安全で快適に生活できるよう、職員一同心より協力いたします。  
・特別養護老人ホーム 恵愛荘 [指定介護老人福祉施設] : 坂東市沓掛337 TEL:0297(44)3320  
・恵愛荘デイサービスセンター : 坂東市沓掛323-1 TEL:0297(30)3110  
・暁厚生園 : 坂東市沓掛4427 TEL:0297(44)0022  
・博愛学園 : 坂東市沓掛4419 TEL:0297(44)2220

【本部】  
■ 坂東市沓掛337  
■ TEL:0297(44)3320  
■ FAX:0297(44)3324  
■ <http://www.group-seifu.or.jp/>

P あり

### 造園土木

エリアマップ4図 B-3

### 四季を楽しむ雑木専門店



総合造園土木・樹木(卸)  
庭園新旧整備 立木伐採一式  
【現地調査 見積り無料】

■ 坂東市生子1847-1  
■ TEL:0280-88-0073 ■ FAX:0280-88-0697  
■ 営業時間/8:00~17:00 ■ 定休日/日曜日

P あり